

情報 フラッシュ

今号の情報フラッシュは、先に行われた衆院選の選挙期間中に、各地で行われました啓発活動を中心にご紹介します。

高校生への啓発活動

①県内を巡回、啓発キャラバン隊

山口県選管・明推協は、県のご当地めいすいくん「めいすいくんスマイル隊」を擁した啓発キャラバン隊による投票の呼びかけを、県内5カ所のショッピングモールなどで行いました。これまではご当地アイドルとともに行ってきましたが、今回は各カ所の選挙権を持つ高校生と行いました。

10月11日に出発式が行われ、各カ所代表の高校生による決意表明や、萩光塩学院高校の書道部員

が大きな紙に「明日への一票」と記す書道パフォーマンスなどが行われました。

また、県選管は初の試みとして、県教育委員会を通じて県立・私立高校の校内放送で投票参加の呼びかけを依頼するとともに、ホームルームなどで利用してもらえよう期日前投票所一覧を配布しました。

②高校への一斉啓発

長野県選管は、県内4つの地域振興局と連携して、始業時間前の高校の校門などで、高校生向けに作成された投票方法が記載された啓発チラシや選挙期日が書かれた啓発資材等を配布して、衆院選をPRしました。高校によっては、選管職員がロングホームルームの時間に、投票参加を呼びかけました。

今回がはじめての選挙という生徒にとって、普段接することない選管職員からの呼びかけは新鮮

であり、一定程度の効果が期待できました。

大学生への啓発活動

①県職員の熱唱による投票の呼びかけ

群馬県選管桐生地方書記局の職員による投票参加の呼びかけが、10月17日に桐生大学のレストランで行われました。群馬県のキャラクター「ぐんまちゃん」が見守る中、職員がギターやタンバリンを持ち、投票参加の歌を通じて、選挙が身近なものであることなどを呼びかけまし

た。演奏後は、ぐんまちゃんも加わり、啓発チラシを配布しました。多くの学生が集まるランチタイムに実施しましたが、思いもよらないパフォーマンスに、学生らはとまどいながらも耳を傾けていました。レストランでは、選挙を話題にするグループも出始めるなど、衆院選への関心を呼ぶとともに、学生にとって印象に残るPR活動となりました。



た。演奏後は、ぐんまちゃんも加わり、啓発チラシを配布しました。多くの学生が集まるランチタイムに実施しましたが、思いもよらないパフォーマンスに、学生らはとまどいながらも耳を傾けていました。レストランでは、選挙を話題にするグループも出始めるなど、衆院選への関心を呼ぶとともに、学生にとって印象に残るPR活動となりました。

②大学構内、講義の合間に啓発

群馬県で活動している若者啓発グループ「TCUE投票ファクトリー」は、メンバーが通う高崎経済大学の講義の合間に、投票参加を呼びかけながら啓発チラシを配布しました。

顔見知りの学生も多い中での活動ですが、昨年の参院選の投票結果から大学生、とりわけ19歳の投票率が低かったこともあり、とにかく関心を持ってもらうことを目的に実施しました。大学食堂前でもチラシなどを配布し、投票を呼びかけました。



③投票相談所を開設

滋賀県草津市選管は、期日前投票所を設けた立命館大学びわこ・くさつキャンパスで、選挙啓発活動をしている学生団体「CUES（キューズ）」のメンバーとクリアファイルや大学が作成した期日前投票所をPRするチラシを配布しました。